【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法評価学		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
遠藤　悠介　他	D320	y.endo		水曜日 10:40～12:10	

授業の目的・概要	理学療法評価は、患者の持つ症状や障害を評価してそれらの情報を分析し、治療方針を立案するために重要である。身体機能に関する障害を把握する上で、関節可動域、筋力、身体計測に関する評価が重要となる。本授業では、理学療法評価の意義と目的を理解することを目的とし、一部実践方法を経験する。理学療法評価方法に関する動画を視聴することや課題学習等を通して理解し、その後、フィードバックとメディアを利用した意見交換を行い理学療法評価の理解を深める。
学習上の助言	解剖学や運動学で学んだ知識を、実際の身体操作を通じて理解を深め、適切な評価につなげて考える。
教科書	理学療法評価学　第 6 版　著：松澤正 他　金原出版 新徒手筋力検査法　第 9 版　著：Hislop HJ 他　訳：津山直一　協同医書出版社
参考書	特になし

	学生が達成すべき行動目標	関連卒業認定・学位授与方針
①	理学療法評価の意義、目的について説明できる。	PT(1)、PT(5)
②	関節可動域測定法を対象者に説明できる。	PT(1)、PT(5)
③	徒手筋力検査法を対象者に説明できる。	PT(1)、PT(5)
④	形態測定を対象者に説明できる。	PT(1)、PT(5)
⑤		
⑥		

授　業　計　画

回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	理学療法評価学の概論について学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題①：理学療法評価の概論	4
2	理学療法における評価の目的を学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題②：理学療法評価の目的	4
3	関節可動域の目的を学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題③：関節可動域測定の目的	4
4	肩・肘の関節可動域測定について学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題④：関節可動域測定の方法	4
5	手・手指の関節可動域測定について学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題⑤：手・手指の関節可動域測定について	4
6	股・膝の関節可動域測定について学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題⑥：股・膝の関節可動域測定について	4
7	足関節・体幹の関節可動域測定について学習する。 フィードバックを行う方法：学内メールにて実施する 学生の意見の交換の機会：学内メールにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	印刷教材等での授業	課題⑦：足・体幹の関節可動域測定について	4
8	徒手筋力検査の目的を学習する。 フィードバックを行う方法：次回授業時または課題終了後に Teams 上で実施する 学生の意見の交換の機会：Teams 上のチャットにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	同時双方向型授業	事前課題「徒手筋力検査の目的」を教科書で確認しておくこと。	4

9	肩・肘関節の徒手筋力検査について学習する。 フィードバックを行う方法：次回授業時または課題終了後に Teams 上で実施する 学生の意見の交換の機会：Teams 上のチャットにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	同時双方向型授業	事前課題「肩・肘関節の徒手筋力検査の方法」について教科書で確認をしておくこと。	4
10	手関節・手指の徒手筋力検査について学習する。 フィードバックを行う方法：次回授業時または課題終了後に Teams 上で実施する 学生の意見の交換の機会：Teams 上のチャットにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	同時双方向型授業	事前課題「手関節・手指の徒手筋力検査の方法」について教科書で確認をしておくこと。	4
11	股・膝関節の徒手筋力検査について学習する。 フィードバックを行う方法：次回授業時または課題終了後に Teams 上で実施する 学生の意見の交換の機会：Teams 上のチャットにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	同時双方向型授業	事前課題「股・膝関節の徒手筋力検査の方法」について教科書で確認をしておくこと。	4
12	足関節・体幹の徒手筋力検査について学習する。 フィードバックを行う方法：次回授業時または課題終了後に Teams 上で実施する 学生の意見の交換の機会：Teams 上のチャットにて受け付ける 「担当：遠藤悠介」	同時双方向型授業	事前課題「足関節・体幹の徒手筋力検査の方法」について教科書で確認をしておくこと。	4
13	関節可動域測定の方法の確認、実技を行う。 「担当：遠藤悠介、池上諒」	講義・実技	関節可動域測定の方法の確認、実践方法の体験を行う。	4
14	徒手筋力検査の方法の確認、実技を行う。 「担当：遠藤悠介、池上諒」	講義・実技	徒手筋力検査の方法の確認、実践方法の体験を行う。	4
15	形態計測の方法の確認、実技を行う。 「担当：遠藤悠介、池上諒」	講義・実技	形態計測の方法の確認、実践方法の体験を行う。	4
試	定期試験（達成度評価・評価のポイント参照）			

達成度評価

総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	その他	合計
		0	50	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	25	0	0	40	65
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	0	5

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✔	授業内容に関連するレポート課題を実施し、達成度評価を行う（50%）。 評価割合は達成度評価を参照すること。	メールや掲示板、Teams によるフィードバックの実施
	②	✔		
	③	✔		
	④	✔		
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✔	授業内容に関連する小テストを実施し、達成度評価を行う（50%）。評価割合は達成度評価を参照すること。	メールや掲示板、Teams によるフィードバックの実施
	②	✔		
	③	✔		
	④	✔		
	⑤			
	⑥			

備　　考

担当教員：◎遠藤悠介、池上諒
教員の実務経験：大学病院、介護老人保健施設、大学等で 7 年の勤務経験
実践的授業の内容：臨床現場で使用する機会の多い評価方法について教示するとともに、13－15 回目の授業では実際の症例に基づいた評価方法の工夫点なども加えた実践的な指導を行う（身体を触知しやすいジャージ、T シャツ等の服装で授業に参加することが望ましい）。
感染対策：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。
遠隔授業：Teams（Microsoft 社）を用いた同時双方向型授業を実施する。本授業は通信容量が無制限のインターネット回線の使用を強く推奨する。
今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。